

鬼北町に映画祭がやってきた！

◎愛媛国際映画祭2021

11月6日、近永公民館で愛媛国際映画祭2021が開催されました。

今年の愛媛国際映画祭は、「青春」をテーマに、夢に向かって邁進する若者をえがいた感動作や、それぞれの青春時代を思い出すような懐かしい名作を県内10市町で上映。鬼北町では、「魔女の宅急便」、「南海の狼火」、「鬼ガール!!」の3本が上映されました。

特に1960年公開の「南海の狼火」は、ロケ地が宇和島市であり、和霊神社や宇和島城などで撮影が行われていることから、当時を知る方々にとっては思い出深い作品。この日一番の人気作品となり、会場は満席となりました。

また、鬼北町青年団による、入口の飾り付けやきほくん、きじの助による出迎え、映画を見終わった帰りにポップコーンの無料配布といったおもてなしもあり、訪れた人たちを楽しませていました。



地域自慢の秋の実りが大集合

◎日吉夢産地 秋の大収穫フェア



11月3日から28日までの間、日吉夢産地で「秋の大収穫フェア」が開催されました。

初日のオープニングを飾った日吉小学校武左衛門太鼓は、赤と黒を基調とした新しい衣装を初披露。昨年新調した衣装でしたが、新型コロナウイルスの影響により、これまで演奏する場がなかったことから1年遅れのお披露目となりました。

フェアでは、地域の農家が育てた自慢の野菜などが並ぶ農林産物品評会やキッチンカーの出店があり、大勢の人たちで賑わいました。

青年団が意見発表で最優秀賞

◎第69回全国青年大会 意見発表の部



11月13日、「第69回全国青年大会」がオンラインで開催され、意見発表の部で鬼北町青年団が最優秀賞を受賞しました。

大会は、地域を舞台に活動する青年たちが全国各地から集まり、成果の発表や技術を競い合います。意見発表の部では、9月に開催された四国ブロック青年大会でグランプリを受賞した鬼北町青年団が出場。西森愛海団長が「青年団と私」というテーマで、活動を行う上での不安や葛藤、仲間づくりの大切さなどについて発表しました。